



期待します

ワク川朝渉さん



参院議員
伊波洋一



衆院議員
赤嶺政賢



県知事
玉城デニー



参院比例
白川よう子



参院議員
高良鉄美



県議会議員
比嘉みずき



県議会議員
渡久地修

弁護士 仲山 忠克
弁護士 赤嶺 朝子
元那覇民診所長・医師 山里 将進
協同クリニック院長・医師 上原 和博
元高校教師 小渡 律子
元中学教師 宮城 達

学童保育指導員 大城喜代美
看護師・助産師 赤嶺 典子
作業療法士 桃原 綾乃
元県議会議員 外間 久子
元衆院議員 古堅 実吉



看護師の母ちゃんとの子育て。
夜勤で母を追い泣く我が子3人、
熱で怪我で呼び出されるこの大
変さ。お迎えの大変さ。
那覇市保育園・待機児童を解消するた
めに、知恵を振り絞り諦めず、定評のある
粘りで取り組み続けてきました。
無認可保育園を認可保育園へ。
今までもたくさんさんの小緑地域の保育園
の相談にも乗り若いパパママの子育ての
ためにがんばってきたのですよ。

妻・千夏（フェイスブックより）



安心できる介護へ、特養老人ホ
ムを増設を訴えたワク川さん。ゆ
がふ苑（山下町）が開所し、お年寄
りや家族から、喜ばれています。
社会福祉法人沖縄にしの会理事長
仲西常雄

ワク川 のあゆみ

小5で父を亡くし、基地内でバイト

米軍施設で働く両親のもとで育つ。
小学5年生の時に、父親を亡くし、母親は幼
い4人の子どもをかかえ、昼夜働きつめの毎
日。朝渉青年も基地内で新聞配達のアパート
をして家計をささえる。

中学、高校はサッカー小僧

高校の時、インターハイに出場。沖縄国体選
抜でキャプテンをつとめました。

上京し、働きながら医療専門学校へ

高校卒業後上京し、東京の病院で働きなが
ら、夜間の臨床検査技師学校に通う。
給料日に、かも南蛮と親子丼を食べるのが
自分へのご褒美でした。

帰京し、沖縄協同病院へ入職

帰郷し、沖縄医療生協・沖縄協同病院検査室
に入職。病院職場で医療・社会保障の予算が削
減されている過酷な実態を目の当たりに。

1996年市議補選に

「弱い立場の人が救われる政治」をめざし、
1996年、市議補選に挑み当選。看護師で3交
代勤務の妻を支えて、3人の子育てに励む。

略歴

●1960年宇栄原生まれ。高良小・小緑中・小緑高校・新日本臨
床検査技師学校卒。●東京・代々木病院に勤務。帰郷し沖縄医療
生協・沖縄協同病院検査室に入職。中部協同病院事務次長。●
1996年那覇市議に初当選。以来8期29年つとめる。●趣味・サ
ッカー、家庭料理。●家族は妻・千夏（旧姓・野村）と子・2男1女。



オール沖縄で
力あわせてがんばります

7月20日
市議選

参院沖縄
タカラ
さちか

市議会議員

医療・福祉の第一人者

ワク川



朝渉
ともゆき

日本共産党

くらしが一番、平和のなはを
消費税5%で12万円の減税を
大幅賃上げと医療・介護の危機打開
命どう宝——戦争の心配のない沖縄を

沖縄民報

2025年5、6月号外
発行：沖縄民報社
日本共産党は那覇市議選の予定
候補者と見解を発表しました。
那覇市前島3-1-17 喜久山ビル
3階 電話098-869-8108

ご相談は☎098(858)4044 高良2-3-54



いのちを守る政治が信条 **ワク川** 朝涉 とも ゆき

医療生協出身

市民のいのちを守りぬく人

- 国保税1世帯1万円減税
- 介護保険の負担軽減

特養ホームなど増設に

「那覇市が中核市になり、特別養護老人ホームの認可権限を持つことになった。待機者をゼロにするために、特別養護老人ホームの整備計画を制定すべき」(2013年6月議会)

——私はくり返し提案をして、「140床整備」(福祉部長)と答弁を引き出し、山下町など12カ所で建設。認知症高齢者グループホームなど、介護施設11施設が整備に。地域から大変喜ばれています。

国保・介護保険の軽減

「介護保険料を負担できない方のために、市独自の減免制度をつくるべき」(1999年12月議会)
——私は負担軽減を求めました。2021年度は年2146円(基準額)引き下げ、2024年度は据え置きとなりました。

「国の前期高齢者財政調整制度で国保が赤字」

(2017年6月議会)
——私は、国の制度欠陥を指摘し、市独自で一般会計から国保会計の繰り入れをさせて、国保税値上げを許さず。



物価高騰対策
市へ緊急申し入れ



赤嶺政賢
衆院議員
を支えて

29年間、高良で無料生活相談 小禄と市政むすぶ架け橋

●高齢者へバス・モノレールの交通費補助を



完成した
小禄支所



「生活に苦しむ人たちの力に」——私はいつもこの思いで、弁護士の協力もえて、無料生活相談を行ってきました。

小禄支所の建て替えと 消防出張所が建設

「現在の補修工事では、安全

3人の子育ての経験いかし 貧困から子どもたちを守る人

●小学校と保育所などの給食費無償化

子ども医療費 中学卒業まで窓口無料

「助成の方法を県と協議して、現物給付(窓口払いなし)に改善を」「自分の子育ての経験からも、年齢の拡大を」(1996年9月議会)
——私が最初に取り上げた29年前は0才児のみ無料でした。署名運動を力に何度も質問し、一歩ずつ拡充してきました。

学校給食費 中学生無料、 小学生半額補助

「学校給食の無料化、子ども政策の1つとして検討する時期にきているのではないか」(2017年9月議会)——私は子どもの貧困対策を先駆けて提案。

県が中学生の無償化を打ち出すなか、4月から実施に。



二度と戦世をおこしてはいけない オール沖縄を支えて、新基地建設ストップ

(沖縄戦で)「私の母は糸満で火炎放射器の炎から逃れ、米軍の捕虜になりました。当時11歳でした。一緒に避難した叔父さんは、その場で亡くなりました」(2014年2月議会)——戦争につながる辺野古新基地は許せません。

「戦没者の遺骨が混じった土砂で、新基地をつくるな」
——オール沖縄を支えて、石破政権を追い詰めます。



確保が不十分。(支所の)早急な建て替えが必要」(2007年3月議会)

「小禄では32%・約2万人、消防隊が(消防指針の)6分半で到着できない」(2006年2月議会)

——くり返し要求して、小禄支所建て替えと消防出張所の複合施設が完成に。